

取扱説明書

型式 マルチキット

適応成形機：SD(W)101型 KSH101型

当製品を安全に且つ正しくご使用いただく為、必ず本取扱説明書をお読み下さい。

又、お読みになられた後も製品と一緒に大切に保管して下さい。

(株) 小川農具製作所

この度は、SD(W)・KSH用のマルチキットをお買い求め頂き誠に有難うございます。

本取扱説明書は当製品の性能を引き出し、より安全で快適な農作業をしていただくためにも、ご使用前によくお読み頂きます様お願い致します。

又、当製品を他の人に貸出される場合には、この取扱説明書を併せて貸出して頂き、正しい取扱いをして頂きます様ご指導をお願い致します。

尚、本製品については、品質改良等により使用部品の変更をする事があります。その場合、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますが、予めご了承下さい。

◎本製品の使用目的について

当製品は成形機(SD型、KSH型)専用であり、畝立て同時マルチ作業に使用するものです。

使用目的以外の作業には決して使わないで下さい。

又、使用目的以外の作業や改造などは決してしないで下さい。

装着するロータリの適応幅の範囲内で使用して下さい。

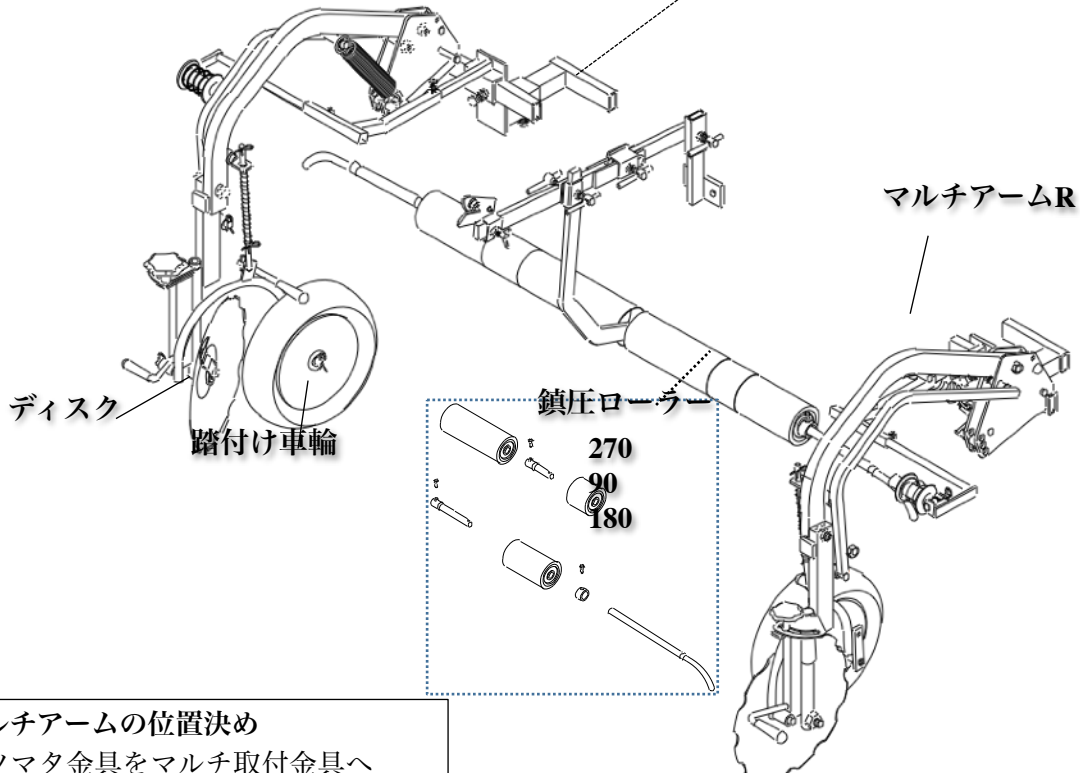
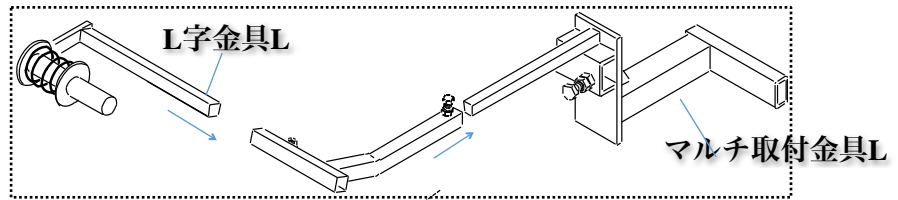
◎安全に作業するために

- ・過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中出来ない時は作業しないで下さい。
- ・作業機の下にもぐったり、作業機の周りに人（特に子供）を近づけないで下さい。
- ・回転部等、動くところには触れないで下さい。
- ・作業機の改造は絶対にしないで下さい。
- ・作業機の脱着や初期調整は、平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりとした場所で行いましょう。成形機の位置設定等を行う際には、エンジンを停止し且つP T O軸への動力伝達が絶たれていることを確認した上で行って下さい。
- ・成形機取付時、トラクタとの重量バランスが変わります。バランスをご確認頂き、必要に応じてウエイトを取付けて下さい。
- ・土質の硬い圃場や未耕地では、成形機を取付けての作業はしないで下さい。
- ・当製品を他の人に貸出される場合には、この取扱説明書を併せて貸出し、正しい取扱いをして頂きます様ご指導をお願い致します。本書の内容が理解できない人や子供には、作業させないで下さい。

マルチキットの取扱要領

I.部品構成

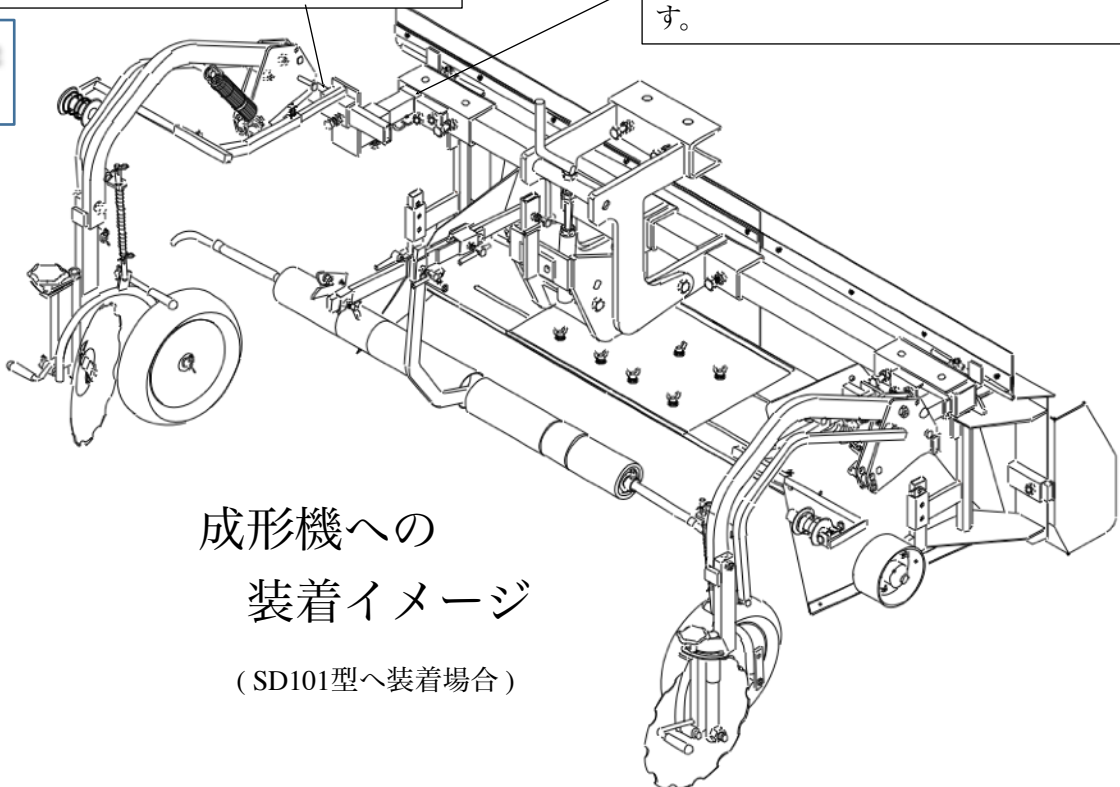
図1



マルチアームの位置決め
ミツマタ金具をマルチ取付金具へ
差込む際には、お互いが接触しない
程度の位置で仮止めする

マルチ取付金具は成形機側の取付ブラ
ケットへ外側より、根元まで差込みま
す。

図2



成形機への 装着イメージ

マルチキットはSD型、KSH型の平畝時(別売の平畝用整地板を併用した場合の1畝)等に適応します。

適応するマルチシート幅(cm)は下記の通りです。

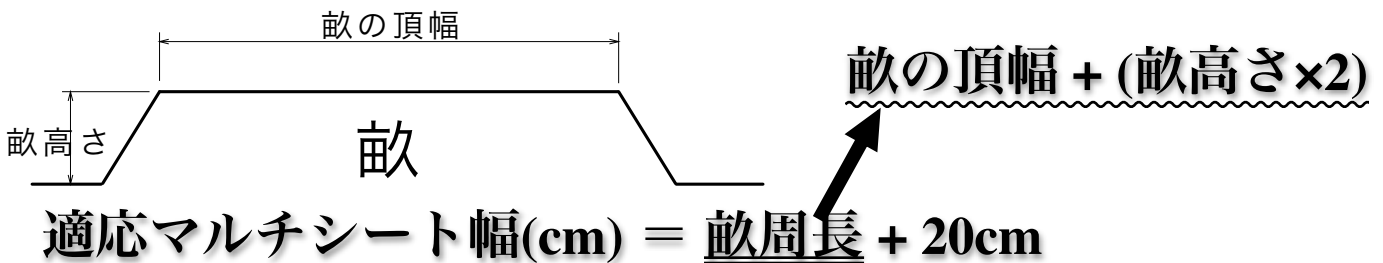
SD型...120~180

KSH型...110~150

◆ここで再確認を◆

当マルチキットで上記サイズのマルチシートをご使用する際、畝のサイズが適合しているかどうか下図を参考に確認をして下さい。

畝のサイズが適応外ですと、シート外れ等の原因となります。

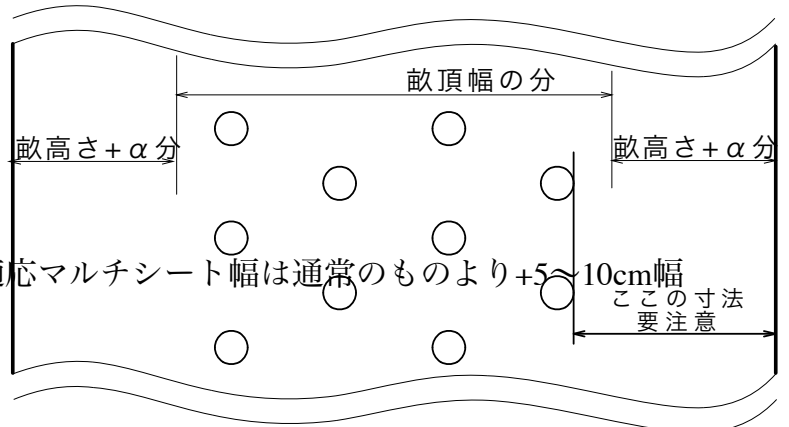


マルチシート 畝形状 シート幅	畝頂幅					単位: (cm)
	畝高さ12	畝高さ15	畝高さ20	畝高さ25	畝高さ30	
120	75	70	60			
135	90	85	75	65	55	
150	105	100	90	80	70	
180			110	110	100	

●マルチシート選定時の注意点●

穴あきマルチの様に穴サイズや位置によって様々な規格があるものを仕入れられる場合、一般的な規格を多く扱うホームセンター等では、平畝用のものが大半です。

平高畝に使用したい場合は、右図の様にシートの端から穴までの寸法にご注意下さい。



生分解性マルチを使用する場合には、適応マルチシート幅は通常のものより+5~10cm幅の広いものをお選びください。

III. マルチアームの位置調整

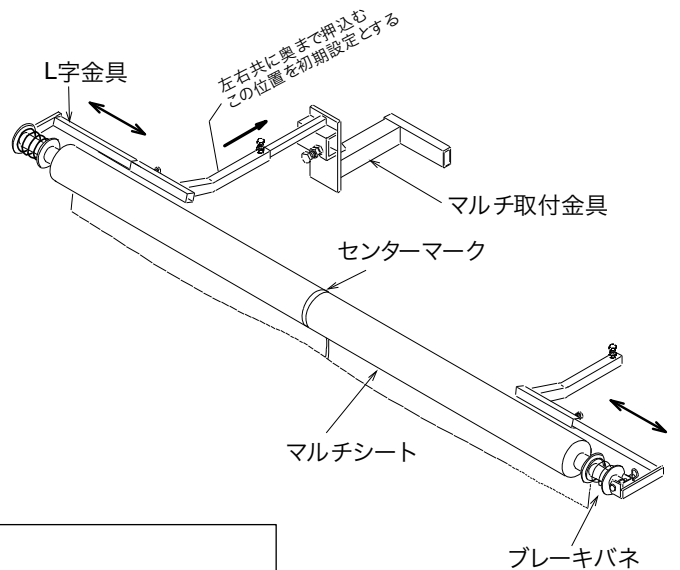
4

前項、図2で仮止めした状態からマルチアームの位置を決定するには、踏付け車輪が畝すそを1cm程度踏む位置であることが必須となります。踏付け車輪が右図の位置にあることが確認出来たらボルトを本締めして固定します。



IV. シート取付部の組付け・調整

マルチシートを右図の様にセットし、センターマークが中心に来るようにL字金具を調整します。その時、マルチシートに少しブレーキがかかる様、内側に押しながら固定します。センターマークが無い場合は実測し、中心に合わせる様にします。ブレーキはマルチシートを手で回した時、勢いで回らない程度のかかりにしておきます。

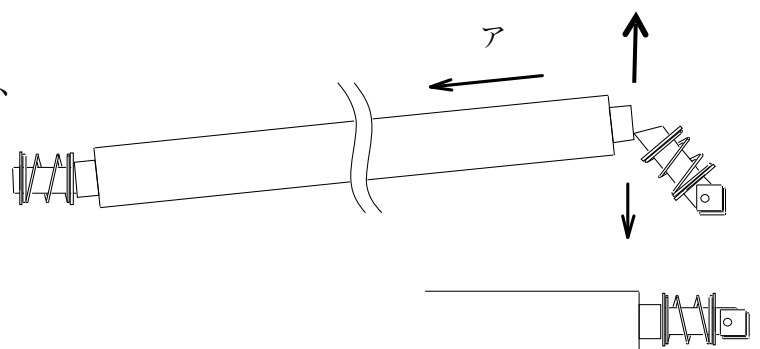


○ワンポイント○

ブレーキは弱すぎると風や遠心力でシートが繰り出され、シワやシート外れの原因となります。又、強すぎても破れや外れの原因となります。

◆マルチシートの交換方法◆

- ・マルチシートをセットするとき
マルチシートを右図の様(ア)に左側に押し、右側のL字金具へ引掛けながら下げてセットします。
- ・マルチシートを外すとき
マルチシートを右図の様(ア)左側に押し、上方向に持ち上げて外します。

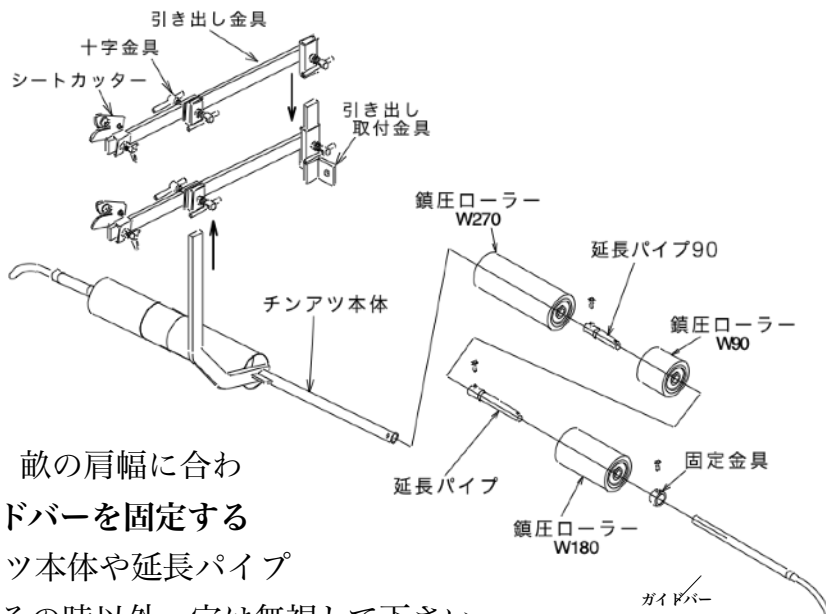


V.引き出し金具・鎮圧ローラーの取付

成形機側のヒッチへ引き出し金具を取付け、右図の様に上方から引き出し金具を取付けます。

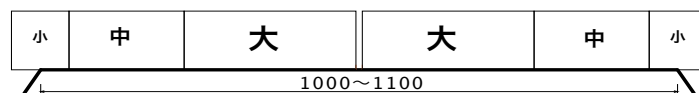
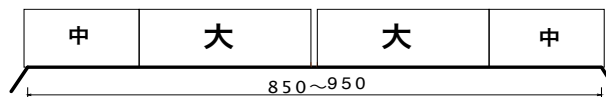
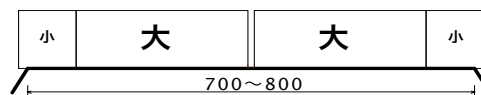
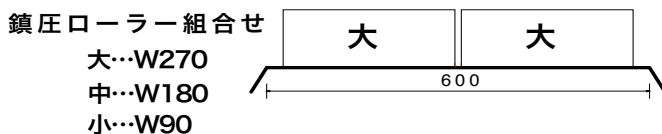
チンアツ本体は十字金具へ下方から取付けます。

鎮圧ローラーは幅別に3種類あるので、畝の肩幅に合わせて組合せを変えて調整します。ガイドバーを固定する場合のみ、固定金具のボルトをチンアツ本体や延長パイプにある穴に通してから締め込みます。その時以外、穴は無視して下さい。

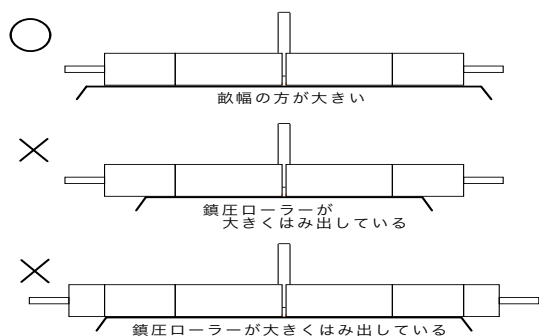


◆畝の肩幅と鎮圧ローラーの組合せについて◆

畝の肩幅と鎮圧ローラーの組合せは概ね右図の様な組合せとなります。畝サイズをよくご確認の上、組合せを確認して下さい。



右図以外で組合せる場合、特に畝からローラーが大きくはみ出す(70mm以上)事は避けて下さい(作業中のシート外れの原因となる事があります)。



VI.作業中の調整要領

①ディスクの調整

テンパを緩め、ディスクの角度を変えることにより、マルチシートにかける土の量が調整出来ます。

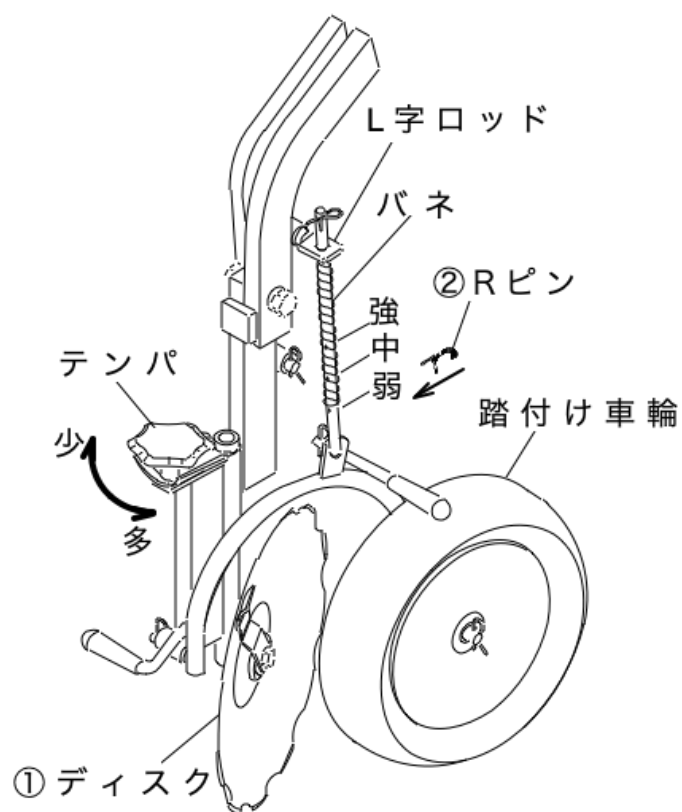
②L字ロッドの調整

マルチ作業中に踏付け車輪が地面より浮き上が

っている場合には、L字ロッドのRピンを強の穴に差し換えます(初期は中の位置)。又、ディスクが浮き上がって土の量が少ない場合は弱の穴に差し換えて下さい。

●踏付け車輪(スポンジ)の長期保管時のご注意点●

マルチアームは上げた状態で保管して下さい。スポンジが変形して作業性能が低下する恐れがあります。



③鎮圧ロール本体の突き出し量の調整

鎮圧ロール本体の突き出し量は畝の高さによって異なります。

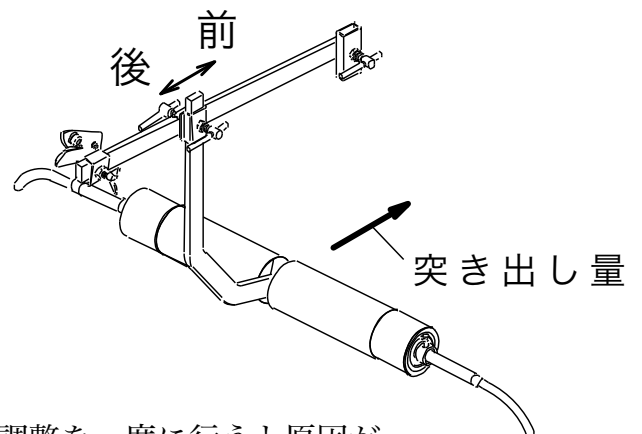
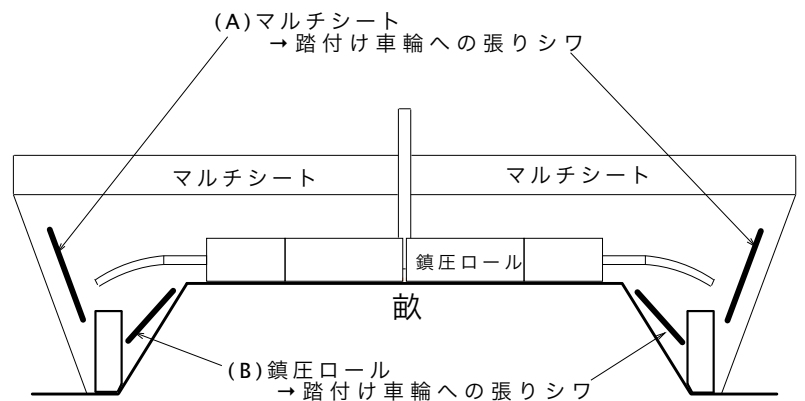
鎮圧ロールを畝の頂上部へ軽くのせる(自重)程度の位置にしてから前後調整を行います。

高い畝ほど突き出し量は多くします。

突き出し量が多すぎると(B)は張るが、(A)に張りが出ない又はたるみが出る。

突き出し量が少なすぎると(A)の張りが強くなり、(B)に張りが出ない又はたるみが出る。

(A)(B)共に張りシワが出たところが丁度良い突き出し量の目安です。



VII.困った時は...

下記の①～の調整を確認してみてください。複数の調整を一度に行うと原因がどこにあるか判らなくなるので、一つずつ確認するようにして下さい。

●マルチシートが作業中に外れる●

- ①畝の周長に対し、マルチシートの幅が適切であるか確認して下さい。
- ②マルチシートが成形機の中心にセットされているか確認して下さい。
- ③鎮圧ロール本体の突き出し量の調整を行ってみて下さい。
- ④踏付け車輪の位置を確認して下さい。
- ⑤踏付け車輪が土面より浮き上がっていないか確認して下さい。
- ⑥鎮圧ローラーの幅は適切でしょうか？

●被覆したマルチシートにシワが出る●

- ①畝が設定の高さまで盛れているか確認して下さい。
- ②シート取付部の組付・調整を参考にブレーキの調整を行ってください。
- ③鎮圧ロール本体の突き出し量の調整を行ってください。

●ディスクの覆土量が少ない●

- ①L字ロッドのバネが強すぎてディスクが浮き上がっていないか確認して下さい。
- ②①の調整を行っても解消されない場合は、右図のバネの掛け位置をAの穴に付け替えて下さい。ディスクを押さえる力が強くなります。

